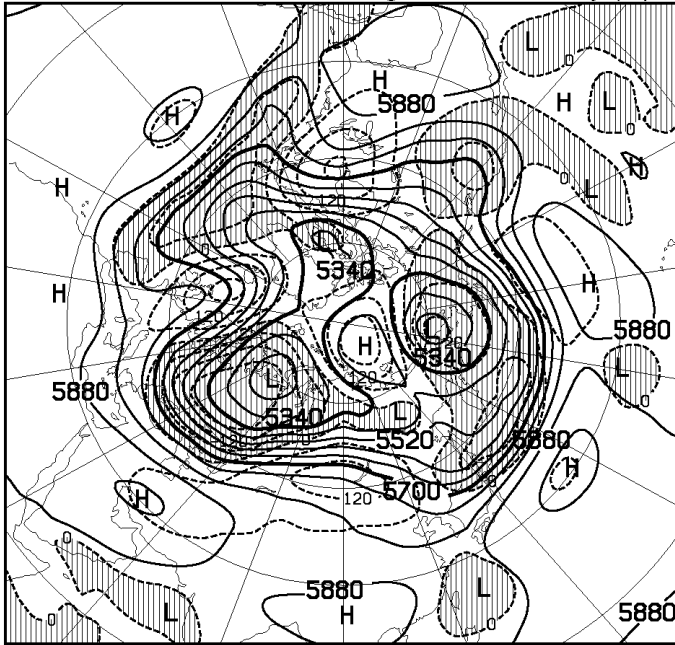
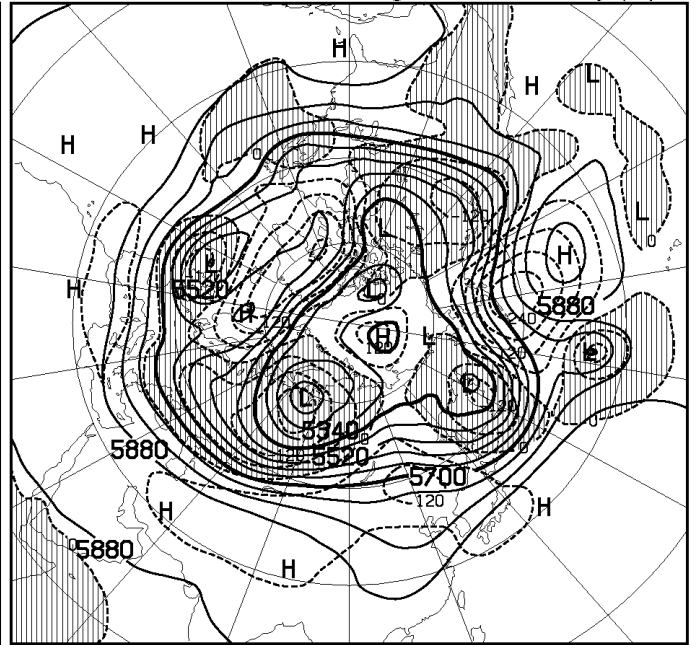


500hPa 5\_DAY\_MEAN Height and Anomaly (m)

500hPa 5\_DAY\_MEAN Height and Anomaly (m)



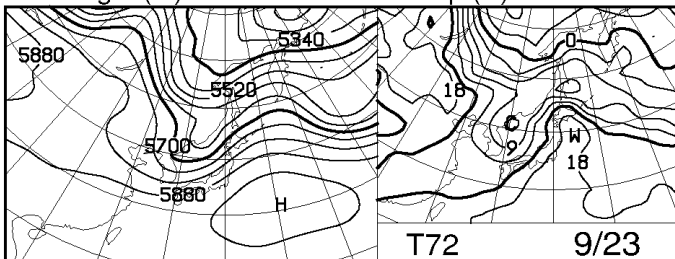
T= -48~48 9/20



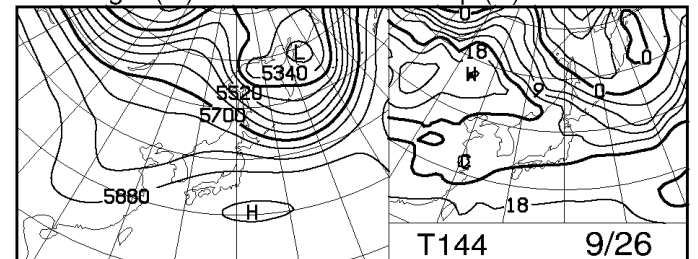
T= 96~192 9/26

Height (m) at 500hPa Temp (c) at 850hPa

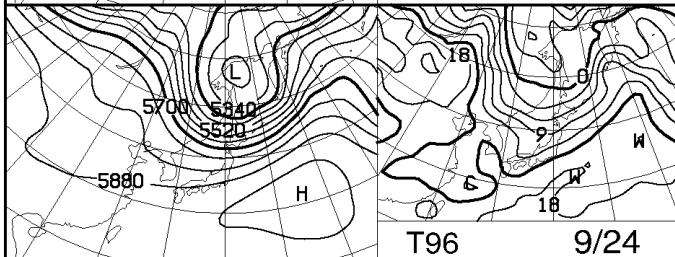
Height (m) at 500hPa Temp (c) at 850hPa



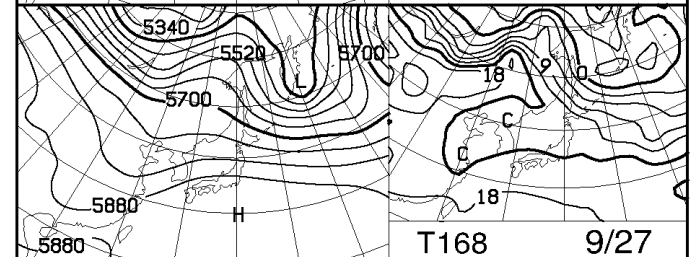
T72 9/23



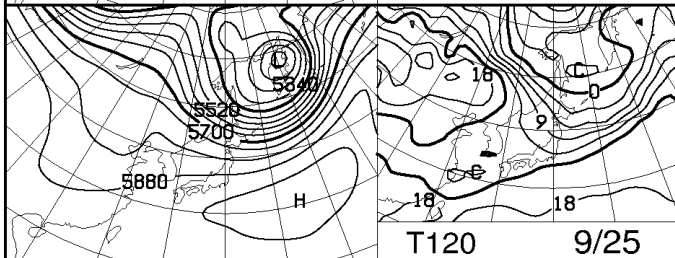
T144 9/26



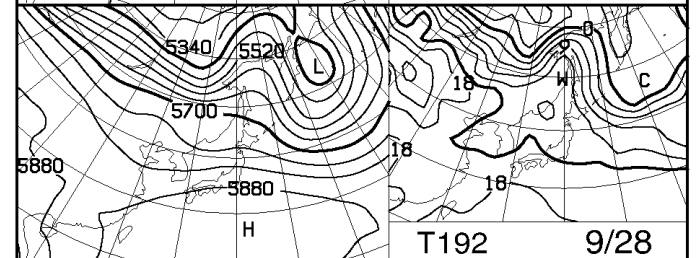
T96 9/24



T168 9/27

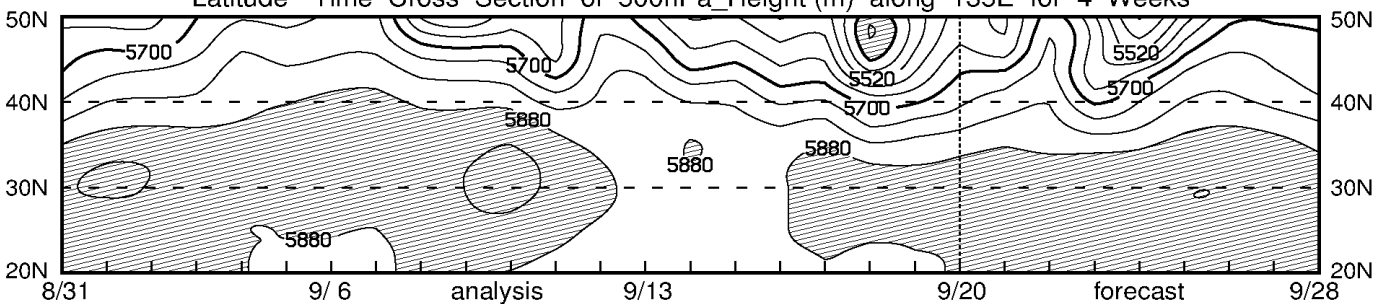


T120 9/25



T192 9/28

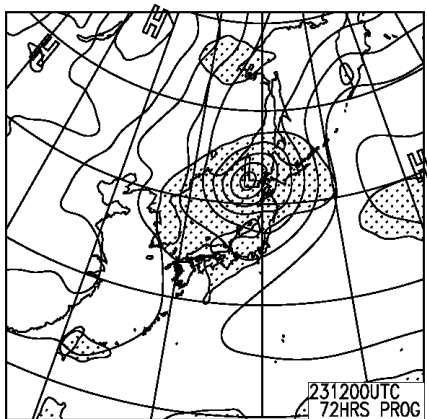
Latitude - Time Cross Section of 500hPa\_Height (m) along 135E for 4 Weeks



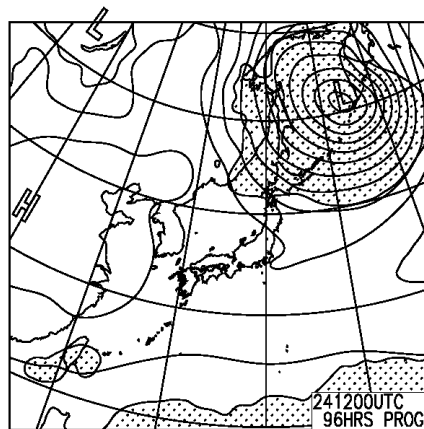


FEFE19 201200UTC SEP 2019

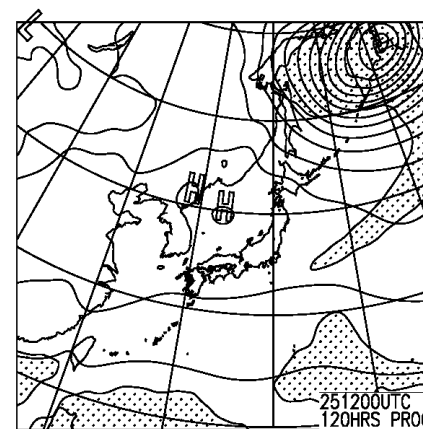
ENSEMBLE PREDICTION CHART



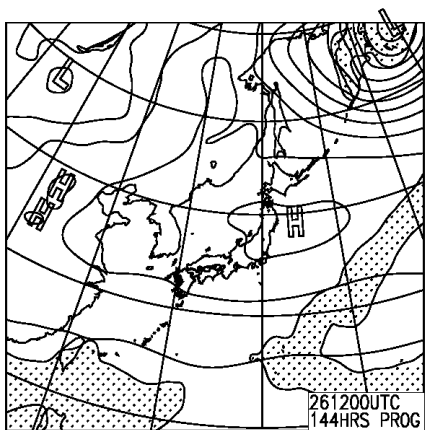
SURFACE PRESS. PRECIP(48-72)



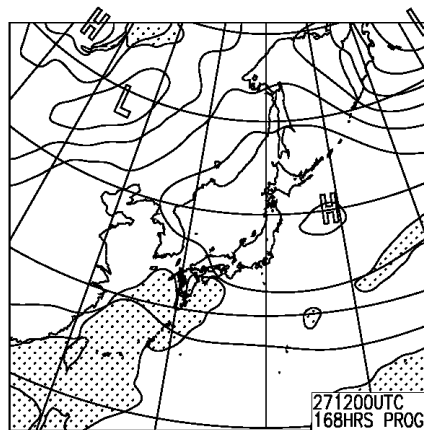
SURFACE PRESS. PRECIP(72-96)



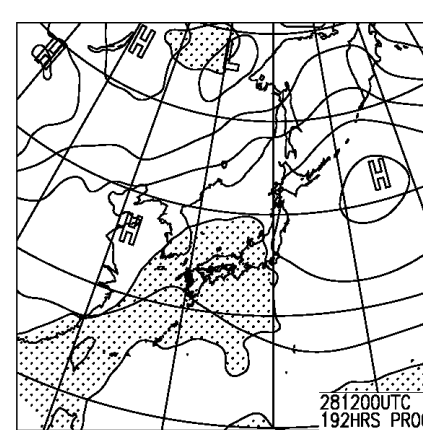
SURFACE PRESS. PRECIP(96-120)



SURFACE PRESS. PRECIP(120-144)



SURFACE PRESS. PRECIP(144-168)



SURFACE PRESS. PRECIP(168-192)

PRECIPITATION AREA ( $\geq 5\text{mm}/24\text{h}$ )  
JAPAN METEOROLOGICAL AGENCY TOKYO

予報期間 9月22日から9月28日まで

## 1. アンサンブル資料

- アンサンブル(ENS): 台風第17号については最新の台風予報を参照。期間のはじめはトラフが黄海から北日本付近を通過する。期間の中頃はトラフが日本の東付近に進み、リッジが沿海州付近へ進む。期間の終わりはリッジが北日本付近に進み、トラフが華中付近へ進む。地上は、期間のはじめは台風第17号が日本海を北上し、温帯低気圧にかわりつつオホーツク海付近へ進む。期間の中頃は高気圧が本州付近に進み、期間の終わりは気圧の谷が西日本付近に進む。
- 500hPa基本場(週間予報支援図): 実況は、沿海州～東シナ海付近がトラフで、日本付近はゾーナルからやや西北西の流れ。北日本の一部と沖縄・奄美を除き正偏差。予報期間は、中国東北区付近とオホーツク海付近がトラフで、日本付近はゾーナルからやや西北西の流れ。おおむね全国的に正偏差に覆われる。
- 24日: 寒冷渦がサハリン付近に南下し、トラフが黄海から北日本付近を通過する。地上は、台風第17号から変わった低気圧がオホーツク海付近に進み、低気圧からのびる前線が北・東日本付近を通過する。また、大陸から高気圧が張り出す。北・東日本は、低気圧や前線の影響で曇りや雨となる。西日本は湿った空気の影響で雲が広がるが、次第に高気圧に覆われて晴れ間も見込まれる。
- 25～26日: 寒冷渦はカムチャツカの東付近に進み、トラフは日本の東へ進む。また、リッジが沿海州付近に進む。地上は、低気圧はカムチャツカの東付近に進み、高気圧が本州付近に進む。北日本は高気圧に覆われて晴れる所が多い。東・西日本ははじめ高気圧に覆われて晴れるが、次第に高気圧後面となり雲が広がりやすくなる。
- 27～28日: リッジが北日本付近に進み、トラフが華中付近に進む。地上は、高気圧の中心は日本の東付近に進み、トラフに対応した気圧の谷が西日本付近に進む。北日本ははじめ高気圧に覆われて晴れるが、次第に高気圧後面となり雲が広がりやすくなる。東・西日本は高気圧後面となって雲が広がりやすく、西日本の太平洋側では気圧の谷の影響で雨の降る所もある。
- 沖縄・奄美: 期間の前半は高気圧に覆われて晴れる日もあるが、台風第17号や湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめと終わりは雨が降る所がある。
- ・アンサンブル(ENS)/27メンバー: 28日に低気圧を日本海から朝鮮半島付近に予想するメンバーが約1割。東シナ海から台湾付近に予想するメンバーが約1割。(重複あり)
- ・スプレッド: 昨日資料と比べて、7日目が拡大した他は縮小した。特定高度線は、比較的揃っているが、期間の後半は5700m線がややばらついている。
- ・降水頻度分布: 昨日資料と比べて、26～27日の日本の南から西日本付近の降水域は縮小した。
- ・予想T850時系列: 北日本は期間の中頃に負偏差の日がある他は正偏差で推移。東・西日本は正偏差で推移。沖縄・奄美は平年値近傍で推移。

## 2. 防災事項

- ・台風第17号の影響で、沖縄・奄美と西日本では23日にかけて、北日本では23日から24日にかけて、大荒れや大しけ、大雨のおそれ。台風第17号の進路等によっては、東日本でも23日から24日にかけては大荒れや大しけのおそれ。

## 3. 明後日予報(3時40分発表の短期予報解説資料も参照)

- ・台風第17号は日本海を北東進し、最大風速60ktの勢力を保ったまま、温帯低気圧に変わって北日本に接近する見込み。北日本で暴風となり、東日本や西日本では強風となる。前線や台風から変わった温帯低気圧が接近する北日本では大雨となるおそれ。西日本や東日本の太平洋側でも湿った風が流入し、雨の降る所がある。また、西日本や東日本の日本海側では台風や温帯低気圧の通過後、下層で寒気の移流が始まり、曇りで雨の降る所がある。東シナ海でも下層寒気の移流により発生した対流雲が南西諸島に流入するため、曇りで雨の降る所がある。

## 4. 全般週間天気予報(案)

- ・北日本は、台風17号から変わる低気圧や前線の影響で曇りや雨となるが、後半は高気圧に覆われて晴れる日もある。
- ・東・西日本は、高気圧に覆われて晴れる日もあるが、台風第17号や前線、湿った空気の影響で雲が広がりやすく、期間のはじめは雨の降る所が多い。
- ・沖縄・奄美は、台風第17号や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多い。期間の前半は高気圧に覆われて晴れる日もある。
- ・最高気温と最低気温はともに、全国的に平年並か平年より高い日が多いが、期間のはじめは平年より低い所もある。